

BOOK CLUB

2025.8.5
Vol.57
南田中図書館

8月1日(金)~8月11日(月)

読書感想文むけ本の福袋

今年もユースサポーターと職場体験で来館してくれた中学生が、小学生の読書感想文むけの本を選びました！

子供たちに喜んでもらえるように、悩みながら一生懸命選んでくれました。わあ、こんなチョイスなんだ！とユースサポーター視点での選書に毎回感心させられます。

21袋もできました！

どくしょかんそうぶん
読書感想文むけ

ユースサポーター
なつやすみ とくべつきかく
夏休み特別企画

ほん
本の

福

袋
ぶくろ

じっしほしよ
実施場所
かいかいだんまえ
2階階段前コーナー

じっしきかん
実施期間
8月1日(金)~8月11日(月)

みなみななかとしよかん かつどう にい ねえ
南田中図書館で活動するユースサポーターのお兄さんお姉さんが、
どくしょかんそうぶん ほん かくねん あ えら
読書感想文におすすめの本を学年に合わせて選びました。
ほん はい たの
どんな本が入っているかはお楽しみ！
かしたし ぶくろ かい も
貸出は、袋のまま2階カウンターに持ってきてください。
かず かざ したい しゅうりょう
数に限りがあり、なくなり次第 終了します。



ユースサポーター一定例活動報告

6月14日

近況報告では運動会で活躍した話やアルバイトを始めた話、いま高校生の中で流行っているもの話などで盛り上がりました！

8月に行う「読書感想文向け福袋」の作成ではオスメの本やキャッチコピーを一生懸命考えて決めています。

途中で顔を見せてくれた懐かしのOBは新メンバーにも直ぐに打ち解けていました。こうやって時々顔を見せてくれると嬉しいですね♪
新刊図書を選書や、ボードゲーム「フォントかるた」をプレイし、笑顔が絶えない楽しい会となりました！



♣福袋では小学1,2年生の本を探すのがとても難しかったですが、本の選書が楽しかったので、ワクワク100%でした。(2)

♠選書・福袋は初めてだったけれど、楽しかったです。(R)

♥福袋の本を選ぶのが楽しかったです!!なかなか良いチョイスができたと思います!!(ゆうき)

♣福袋作りでは喜んでもらえるように、一生懸命選びました！読書感想文の本におススメです。(まな)

◆本の福袋を選ぶのが楽しかったです！やっぱり選書って難しいですね…(ニア)

♠ユースメンバーの元気な顔や、近況を聞けて楽しかった。(M)

♥誰かに向けた本を選ぶのは難しいなと思わされましたが、楽しんでいただけたら嬉しいです！(鮭)

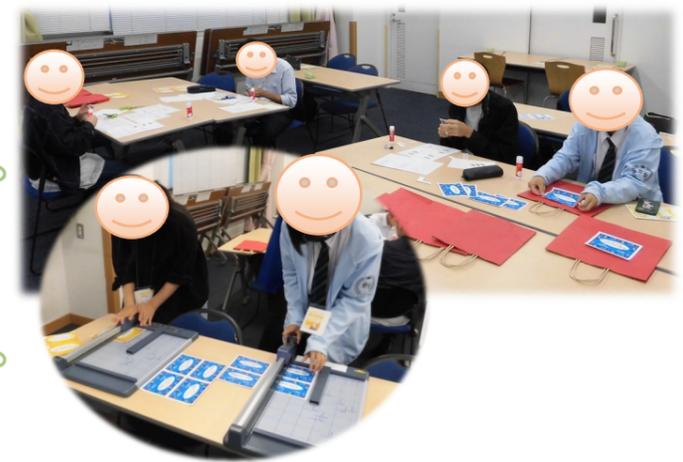
♣細かく紙を切ったので、大変でした。お腹減りました。(ヒナタ)

♠ラベルの切り絵、むずかしかったです(ニア)

♥ラベルの切りとりや、バーコードの切りとりが大変でしたが、楽しかったです。『本の福袋』楽しみです！(ひな)

♣ラベルの切り抜き作業で久しぶりにはさみを使ったら、力が入りすぎて人差し指の第二関節にあざができてしまいました(笑)(鮭)

♠本の福袋が完成してうれしいです!!みんなたくさん福袋を借りてもらいたいです!!(ゆうき)



7月12日

新しいメンバーを迎え、新鮮な気持ちと共にいつもの和やかな定例会でした。みんな、勉強や行事、部活など盛りだくさんの話題で、自由に楽しく話しました。間もなく始まる夏休みの予定も色々出ていました。

今日は『読書感想文向け本の福袋』の準備作業をしました。ラッピング袋のラベル貼りや貸出用バーコード表の作成など、初めての作業でしたがみんな作業がとても丁寧且つスピーディーですべての準備が終わり助かりました。切り貼りを中心とした作業で会話はずみ、楽しそうでした♪
8/1(金)より順次貸出がはじまります。おたのしみに！

今後のイベントのお知らせ

／／ なんしょかい～南田中 図書と対話の会～

9月14日(日)14時～16時 『読み継ぎたいマンガの話しよう』
南田中図書館で年に4回開催している「なんしょかい」をご存知ですか？
図書館員や参加者と様々なテーマで本についておしゃべりをするイベント
です。9月のテーマは「マンガ」です。マンガについて深くお話ししません
か？ご参加お待ちしております！

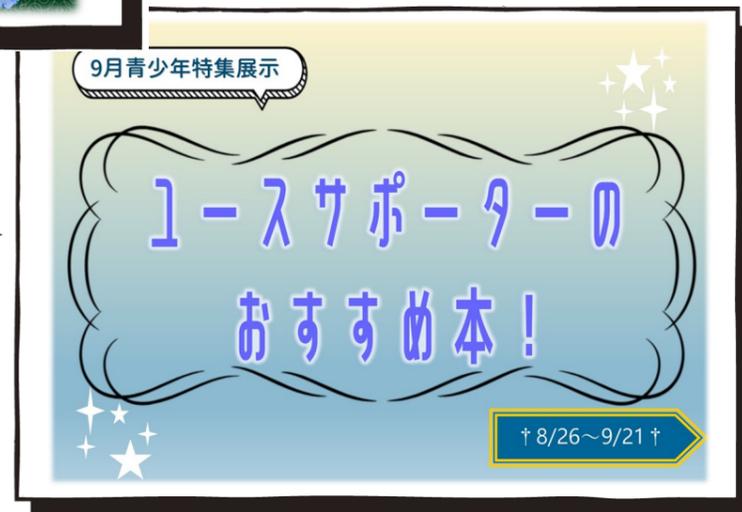
／／ ユースサポーターが一日図書館員のお手伝いをします

小学生を対象にした夏休み恒例のイベント『一日図書館員』。
図書館のお仕事を疑似体験したり、図書館について楽しく学びます。
そんなかわいい図書館員を、ユースサポーターが優しくサポートします。



← 8月青少年特集展示

9月青少年特集展示 →



おすすめ 図書案内

『キミの一步アフリカ ゾウを食べるにはひと口ずつ』

味田村太郎/文
あかね書房 2025.3 ISBN 978-4-251-09643-2

大学時代にボランティアとしてアフリカを訪れた著者。貧しくてもたくましく生きる現地の人びとの姿にひかれアフリカで仕事をしたいと夢を抱きました。20年が経ち転勤により念願だったアフリカで仕事をするチャンスに恵まれました。NHK記者として紛争で苦しむ人々や野生動物の問題など多くの取材を行いました。砂漠化による食糧不足や貧困といった社会問題、環境活動に取り組む子どもたちの生きる姿など、実際に現地で暮らしているからこそみえるアフリカの現状を伝えてくれるエッセイです。

『メイドイン十四歳 Made in 14 years old』

石川宏千花/著
講談社 2020.11 ISBN 978-4-06-521443-5

中学二年生の吉留藍堂くんは優等生。それ故に先生からの信頼も厚く、転入生の案内係を任せられます。しかしその転入生の姿は実写版透明人間のように包帯ぐるぐる巻きでびっくり！ 困惑するクラスメイトとの間で奮闘し、心が折れそうな藍堂くんですが…。先天性可視化不全症候群という病の正体はいかに!? 藍堂くんを支える個性的な大人たちと、作中に出てくる物語の行方も気になります。

『あの子とQ』

万城目学/著
新潮社 2022.8 ISBN 978-4-10-336013-1

直木賞作家・万城目学さんによる青春ヴァンパイアファンタジー！
10日後に17歳の誕生日を迎える弓子の前に、突如現れた怪異は自らを「Q」と名乗ります。【誕生日に行う儀式までの間、弓子を監視する】というQにまとりつかれたまま、奇妙な日常を過ごす羽目になった弓子。いよいよ誕生日を明日に迎えた日、友人3人と海へ出かけたその帰り道に事件が起こります。